

情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会（第55回）

議事要旨

1 日時：令和5年8月30日（水）10:00～11:30

2 場所：Web会議開催(Cisco Webex)

3 出席者（敬称略）

【構成員】平田主査、石上主査代理、長谷山委員、増田委員、秋山専門委員、石山専門委員、大西専門委員、小島原専門委員、杉本専門委員、曾根専門委員、田島専門委員、塚原専門委員、徳田専門委員、堀専門委員、松永専門委員、山下専門委員、和氣専門委員

【関係者】雨宮氏(VCCI協会)、久保田氏(TELEC)、松本氏(NICT)

【事務局】総務省：内藤電波環境課長、今泉電波監視官、郷藤電磁障害係長、木村官

4 議事

（1）CISPR 会議対処方針について

始めに、石上主査代理より資料 55-1 及び 55-2 に基づき CISPR 全体総会の対処方針について説明が行われた後、各作業班主任より CISPR 各小委員会の対処方針について説明が行われ、承認された。

情報通信技術分科会への報告に当たり、本質に関わりのない細かい字句修正等については主査一任となった。

また、CISPR 会議の参加者（案）について資料 55-3 に基づき確認が行われ、承認された。

（2）ワイヤレス電力伝送作業班の再開について

事務局よりワイヤレス電力伝送作業班の検討再開について資料 55-4 に基づき説明が行われた。主な質疑応答の概要は以下のとおり。

田島専門委員：今後のワイヤレス電力伝送作業班の開催スケジュールについて教えていただきたい。

事務局：前回作業班の開催後、要望元の BWF 内での検討がまだ続いており、早ければ9月に作業班ができればと考えているところだが、開催時期については BWF 内での検討次第になる。次回作業班では、許容値及び測定法について議論をいただき、修正が終わり次第、電波利用環境委員会報告書（案）を作成する予定である。可能であれば年度内には検討できるのではないかと思う。

田島専門委員：検討の完了までは、3回程度の作業班を1～2年かけて行うというイメージ

でよかったか。

事務局 : 第1回から第11回のワイヤレス電力伝送作業班における検討では、ワイヤレス電力伝送の概要から始まり、広範にわたって議論いただいたため、2年程度の期間を要した。今回の検討については、議論が円滑に進めば年度内には検討が完了するものと考えている。

(3) その他

事務局より、電波利用環境委員会報告(案)(CISPR 会議対処方針)については、9月12日の情報通信技術分科会で本日の検討結果を踏まえて報告いただき、審議いただく旨連絡があった。また、現時点で総会の議題が確定していないことについては、確定次第委員会構成員と調整を行う旨連絡があった。

次回会合は詳細が決まり次第、メール等で通知する旨連絡があった。

(以上)